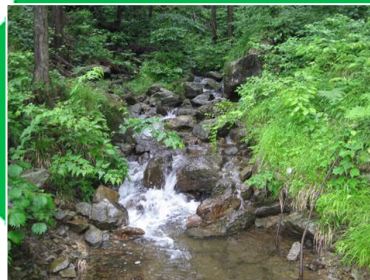


# 環境経営レポート



環境省  
エコアクション21  
認証番号 0004739

2024年度  
(2024年4月～2025年3月)



## 栃木スバル自動車 株式会社

発行日：2025年6月1日



# 目次

ページ

<b>【1】組織の概要</b> .....	1
<b>【2】対象範囲</b> .....	3
<b>【3】環境経営方針</b> .....	4
<b>【4】環境経営目標</b> .....	5
<b>【5】環境経営計画</b> .....	5
<b>【6】環境経営目標の実績</b> .....	6
<b>【7】取り組みの実施状況、次年度の取り組み内容</b> .....	7
<b>【8】環境関連法規等の遵守状況の確認 及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無</b> .....	9
<b>【9】代表者による全体評価と見直しの結果</b> .....	9

# 【1】組織の概要

## 代表者コメント

2009年8月から取り組んできたエコアクション21も社員の努力もあり、かなり定着してきていると思われま

す。  
SUBARUとしても2022年に新型電気自動車「SOLTERRA(ソルテラ)」が投入され、それらの拡販に加え、事業活動としても省エネ・環境に優しい体質にしていきたいと考えます。



- (1) 事業所名 栃木スバル自動車 株式会社
- (2) 代表者氏名 代表取締役社長 小平 和正
- (3) 所在地 栃木県宇都宮市陽南1丁目1番17号
- (4) 環境保全関係者

事務局メンバー	根本 敏弘、大橋 一由、中田 勝久、関口 久雄、 仲三河 浩和、市村 和俊、柴崎 重美 田村 直也、飯塚 和宏、渡邊 和典
環境管理責任者	根本 敏弘
環境コンプライアンス担当	仲三河 浩和、中田 勝久
事務局長	柴崎 重美

連絡先 電話 028-658-2134 FAX 028-659-0809  
E-mail : soumu@tochigi-subaru.jp  
<https://www.tochigi-subaru.jp/>

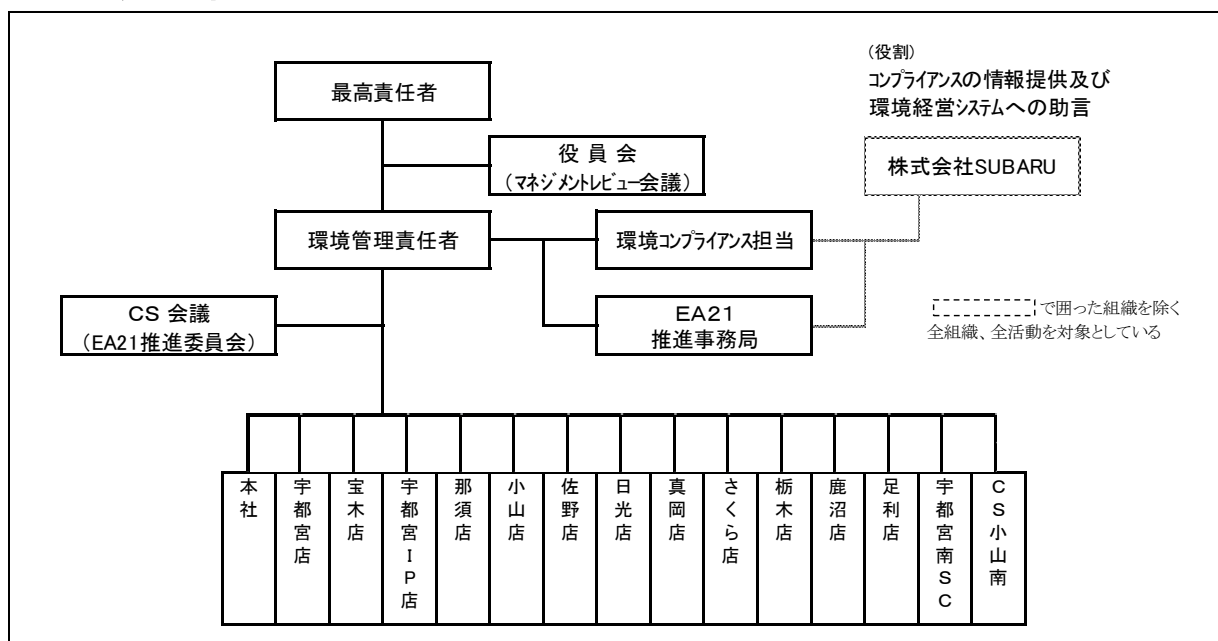
## (5) 事業の内容

新車・中古自動車の販売、整備、自動車部品・用品の販売、自動車保険代理業務

## (6) 事業の規模 (2024年度)

・売上高	11,102 百万円
・新車販売台数	2,340 台
・中古車販売台数	1,634 台
・従業員数	250 人

## (7) 実施体制



担当者、会議体	役割、責任及び権限
社長	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境マネジメント（EMS）執行の最高責任者</li> <li>経営における課題とチャンスを整理し、明確にする</li> <li>環境方針を定める。また必要に応じ見直す</li> <li>EMSの見直しと必要な指示（マネジメントレビュー）を行う</li> <li>要員（人材）、設備、資金等の資源を経営上対応可能な範囲で用意する</li> <li>環境管理責任者を任命する</li> <li>環境文書・記録の承認を行う</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>本業の業務とは関わりなく、EMSを確立・実施・維持する責任と権限を有する</li> <li>環境方針に沿って全社環境目標（中期と当該年度）を策定する</li> <li>緊急事態の訓練を計画し、実施する（拠点の実施を推進する）</li> <li>マネジメントレビューの報告情報を取り纏め社長へ報告する</li> <li>環境に係わる教育訓練を推進する</li> <li>外部からの苦情対応の責任者</li> </ul>
環境コンプライアンス担当	<ul style="list-style-type: none"> <li>「環境関連法規制等一覧表」を作成し、最新状態を維持する</li> <li>環境に関する行政機関対応の責任者（法規制対応も含む）</li> </ul>
EA21推進事務局 「本社事務局と呼ぶ」	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境管理責任者を補佐し、EMSの確立・実施・維持全般に関する事務局業務を行なう</li> <li>環境経営マニュアル・手順書、帳票等（環境文書・記録）の作成・維持管理</li> <li>各部門、各拠点との調整、情報の伝達</li> <li>全社EMSの進捗管理、審査対応窓口（外部との調整を含む）</li> <li>マネジメントレビューの情報収集・整理</li> <li>株式会社SUBARUの環境推進部門との窓口</li> </ul>
部門・拠点推進責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>各部門・拠点の環境活動の実質的な実施責任者</li> <li>各部門（担当する管理職）、各拠点長が担当する</li> </ul>
一般従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境活動の重要性を自覚し、必要な環境教育訓練を受け、環境方針・環境目標・環境活動実施計画書に基づいて、日常の環境活動に取り組む</li> </ul>
役員会 (環境に関わる事項についてのみ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>主催者：社長</li> <li>構成員：役員</li> <li>会議の目的：環境活動に関する重要な課題がある場合には、役員会の議事として議論する</li> <li>開催頻度：1回/月</li> <li>記録の有無：記録を残す（環境管理責任者）</li> </ul>
C.S.会議 (EA21推進委員会)	<ul style="list-style-type: none"> <li>主催者：社長</li> <li>構成員：役員（環境管理責任者）、各部門・拠点推進責任者、EA21推進事務局</li> <li>会議の目的：情報伝達、意見交換等、環境活動の推進</li> <li>開催頻度：随時</li> <li>記録：記録を残す（EA21推進事務局）</li> </ul>
マネジメントレビュー会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>主催者：社長</li> <li>構成員：役員・EA21推進事務局</li> <li>会議の目的：EMSを規定した通り適切に運用しているか、有効に機能しているか、目標の達成状況、問題点の明確化と改善の方向を示す</li> <li>開催頻度：役員会の場を利用して行う。 (2回/年 4月、10月)</li> <li>記録の有無：記録を残す（「マネジメントレビュー議事録」）</li> </ul>

## (8) 事業所一覧

事業所名	郵便番号	住所	電話番号	FAX番号	工場	非正規	総合計	組織区分
					資格			
1 本社(宇都宮店除く)	320-0834	栃木県宇都宮市陽南1-1-17	028-658-2134	028-659-0809	-	4	44	A
2 宇都宮店	320-0834	栃木県宇都宮市陽南1-1-17	028-658-2131	028-658-9732	指定	3	36	C
3 宝木店	320-0074	栃木県宇都宮市細谷町754-1	028-650-5653	028-650-5654	指定	0	13	C
4 宇都宮インターパーク店	321-0118	栃木県宇都宮市インターパーク4-8-2	028-657-7701	028-657-7702	指定	0	22	C
5 那須店	329-2745	栃木県那須塩原市三区町633-13	0287-36-1170	0287-36-3544	指定	1	15	C
6 小山店	323-0014	栃木県小山市喜沢667-11	0285-22-2575	0285-22-2560	指定	0	17	C
7 佐野店	327-0041	栃木県佐野市免鳥町862-1	0283-22-6207	0283-22-6209	指定	1	12	C
8 日光店	321-2412	栃木県日光市倉ヶ崎松原120-5	0288-22-3361	0288-223362	指定	0	10	C
9 真岡店	321-4361	栃木県真岡市並木町3-4-10	0285-84-2121	0285-84-2123	指定	0	13	C
9 さくら店	329-1303	栃木県さくら市松山1030	028-682-3003	028-682-3005	指定	0	10	C
10 栃木店	328-0074	栃木県栃木市菌部町1-17-13	0282-25-0112	0282-25-0115	指定	0	12	C
11 鹿沼店	322-0026	栃木県鹿沼市茂呂2611-3	0289-64-2121	0289-64-2122	指定	0	13	C
12 足利店	326-0033	栃木県足利市花園町62	0284-40-3131	0284-40-3318	指定	0	18	C
13 宇都宮南サービスセンター	321-0124	栃木県宇都宮市下横田町東川原949-2	028-655-5700	028-655-5701	認証	0	8	F
14 カースポット小山南	323-0827	栃木県小山市神鳥谷303-1	0285-39-7700	0285-25-7739	認証	0	7	C

注) (内数)とは母店の内数を示す

工場の資格で、指定は指定整備工場、認証は認証工場を示す

組織区分の意味

A=オフィス業務(事務所業務)

B=オフィス業務+自動車販売(新車、中古車)

C=オフィス業務+自動車販売(新車、中古車)+整備業務

D=オフィス業務+自動車販売(新車、中古車)+整備業務+钣金塗装

E=オフィス業務+整備業務

F=オフィス業務+整備業務+钣金塗装

## 【2】対象範囲

上記全組織、全活動を対象としている

## 【3】環境経営方針

### 環 境 経 営 方 針

#### 《基本理念》

栃木スバル自動車株式会社は、世界遺産日光を擁する栃木県の自然環境及び次世代の環境に及ぼす影響を常に意識し、住み良い地域環境と地球環境の実現のため、経営のあらゆる側面で環境に配慮して行動します。

#### 《基本方針》

この理念のもと、当社が行なう自動車及び部品の販売、整備、保険代理業務に関する事業活動が環境に与える影響を考慮し、以下の環境保全活動を推進します。

1. 環境に配慮した車の販売を推進します。
2. 事業活動の全領域で、省エネルギー(CO2削減を含む)、省資源、リサイクル、環境保全に配慮した活動を行ないます。
3. 環境汚染を未然に防止すると共に、環境マネジメントが継続的に改善できるように推進します。
4. 適用される環境関連の法規制、条例、及び当社が同意するその他の要求事項を遵守します。
5. 特に次の環境保全の重要項目に対して、環境目標を設定し取り組みを行い、必要があれば見直しを行ないます。
  - ①省エネルギーの推進(電力使用量、燃料使用量削減)
  - ②省資源 (水使用量、紙使用量抑制)
  - ③廃棄物の排出抑制と適正処理(一般及び産業廃棄物排出量削減)
  - ④化学物質管理の強化(PRTR法関連、VOC対策)
  - ⑤ 拠点周辺の清掃活動を行ない、地域の環境改善に貢献します。
6. この環境経営方針を全従業員に周知し、教育活動を推進します。

2019年 4月 1日

栃木スバル自動車株式会社  
代表取締役社長 小平 和正

# 【4】環境経営目標

## (1) 環境負荷の状況(全社)

		単位	2021年度 (R3年度)	2022年度 (R4年度)	2023年度 (R5年度)	2024年度 (R6年度)
二酸化炭素 排出抑制	電 気	kwh	1,141,570	1,129,654	1,063,518	1,080,179
	ガ ソ リ ン	ℓ	244,623	250,866	249,176	239,406
	灯 油	ℓ	10,207	8,492	9,712	8,290
	軽 油	ℓ	11,660	12,146	12,213	12,876
	L P G	m3	234	202	173	144
二酸化炭素排出量		kg-CO2	624,578	635,789	634,915	610,282
廃棄物排出抑制	コ ピ ー 紙	kg	4,227	4,230	4,168	4,018
	産 業 廃 棄 物	kg	210,907	185,206	182,218	180,012
水使用量削減	上 水 道	m3	5,612	5,247	4,873	5,140

\*産業廃棄物については、2021年度より全項目を集計するように変更

## (2) 中期環境目標(全社)

		単位	基準値 (R5年度)	2024年度 (R6年度)	2025年度 (R7年度)	2026年度 (R8年度)
二酸化炭素 排出抑制	電 気	kwh	1,115,171	(△1%) 1,104,019	(△2%) 1,092,868	(△3%) 1,081,716
	ガ ソ リ ン	ℓ	249,904	(△1%) 247,405	(△2%) 244,906	(△3%) 242,407
	灯 油	ℓ	9,992	(△1%) 9,892	(△2%) 9,793	(△3%) 9,693
	二酸化炭素排出量		kg-CO2	637,232	630,860	624,487
廃棄物排出抑制	コ ピ ー 紙	kg	4,168	(△1%) 4,126	(△2%) 4,085	(△3%) 4,043
	産 業 廃 棄 物	kg	182,218	(△1%) 180,395	(△2%) 178,573	(△3%) 176,751
化学物質管理強化		—	管理台帳による管理	管理台帳による管理	管理台帳による管理	管理台帳による管理
水使用量削減	上 水 道	m3	4,873	(△1%) 4,824	(△2%) 4,776	(△3%) 4,727
社会貢献活動	新車販売目標 達成率	%		100%	100%	100%

\* 二酸化炭素排出量については、ガスは3年後△3%(各年△1%)、軽油は3年後3%(各年△1%)として計算しております。

# 【5】環境経営計画

環境経営目標項目		取組(実行施策・手段)	
(1)	二酸化炭素排出抑制	電力使用量削減	* 冷暖房設定温度管理 * 休憩時間消灯 * PCのスタンバイ設定の徹底 * サービス工場のストール毎消灯の徹底
		ガソリン使用量削減	* 効率的な車の使用 * ガソリンカードの適正管理 * エコドライブの推進
		灯油使用量削減	* 冷暖房設定温度管理
(2)	産業廃棄物排出抑制	紙(コピー用紙)の使用削減	* 会議等の資料枚数の削減 * 裏紙使用、両面印刷の推進 * 電子媒体による資料の推進
		産業廃棄物の削減	* マニフェットの完全運用 * 持ち込まない運動の推進 * 適正分別の徹底、リサイクル化の推進
(3)	水使用量削減	上水道の使用量削減	* オフィス及び整備工場の節水活動推進
(4)	化学物質管理強化	管理台帳の作成	* 全体量の把握・拠点展開
(5)	販売に関する活動	エコカー販売推進	* 新車販売目標の必達
(6)	社会貢献活動	社会貢献活動推進	* 地域社会への環境活動推進 * 事業所周辺の清掃活動

# 【6】環境経営目標の実績

## 数値実績(全社)

		単位	削減目標 (基準年度比)	2024年度目標 (R6年度)	2024年度実績 (R6年度)	評価(目標比)
二酸化炭素 排出抑制	電 気	kwh	△1%	1,104,019	1,080,179	○(97.8%)
	ガ ソ リ ン	ℓ	△1%	247,405	239,406	○(96.8%)
	灯 油	ℓ	△1%	9,892	8,290	○(83.8%)
二酸化炭素排出量		kg-CO2		630,860	610,282	○(96.7%)
廃棄物排出抑制	コ ピ ー 紙	kg	△1%	4,126	4,018	○(97.4%)
	産 業 廃 棄 物	kg	△1%	180,395	180,012	○(99.8%)
化学物質管理強化		—	管理台帳の作成	管理台帳の作成	管理台帳の作成	○
水使用量削減	上 水 道	m3	△1%	4,824	5,140	×(106.6%)
社会貢献活動	新車販売目標 達成率	%		100%	104.2%	○

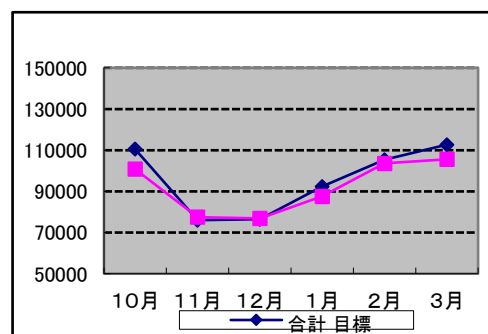
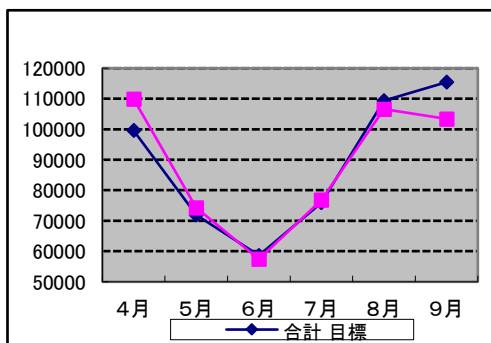
\*評価記号：○達成 ×未達成

(注) 使用した排出係数は、出光グリーンパワー 調整後排出係数 0を使用しております。

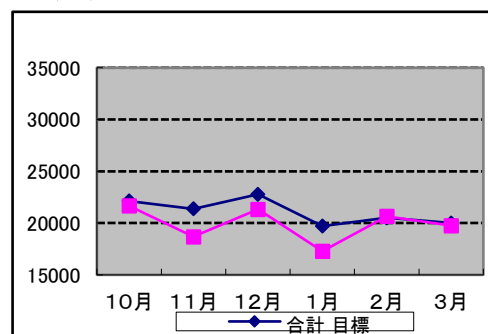
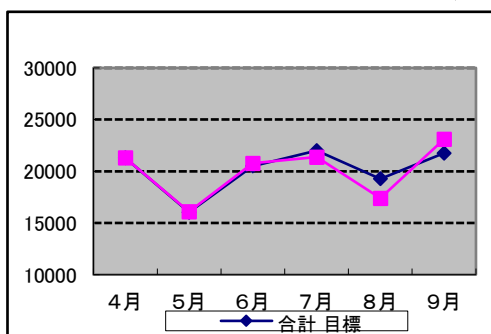
## 電気・ガソリン・灯油 目標比 グラフ (全社)

◆ 合計目標    ◆ 合計実績

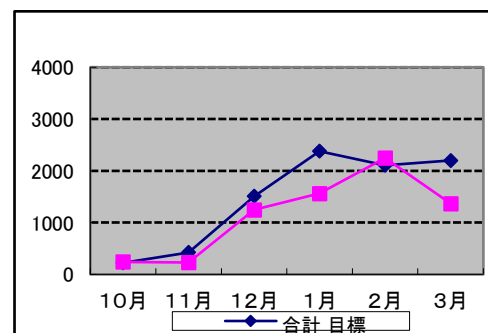
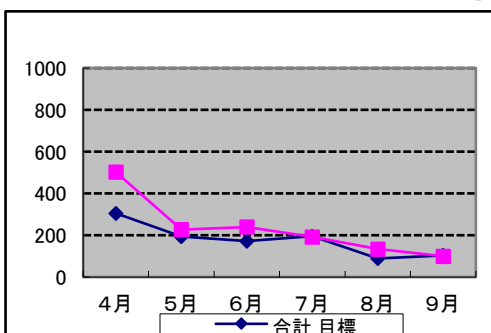
電気使用量 (kwh)



ガソリン使用量 (ℓ)



灯油使用量 (ℓ)



## 【7】取り組みの実施状況、次年度の取り組み内容

	目標	取組内容	取組の実施状況	評価
(1)	電力使用量削減	冷暖房設定温度管理  休憩時間消灯  PCのスタンバイ設定の徹底  カービズ工場のストール毎消灯の徹底	冷暖房の温度設定を徹底・空調機のフィルター清掃や屋外広告物の設定時間を確認し、季節による変更を実施致しました。又、今期は本社事務棟にてはLEDへの入替を実施しました。	昨年在 $\Delta$ 4.7%と達成で、今年は $\Delta$ 2.2%達成することが出来ました。今期はLEDへの入替を本社事務棟で実施しました。今後は2025年上期に本社の屋外外灯のLED化を計画をしています。全拠点にてほとんどLED化が完了しましたが一部の拠点で計画を上回りました。今後も仕事の効率化を図り、さらなる残業時間短縮に努め電気使用量の削減に努めていきます。
	ガソリン使用量削減	効率的な車の使用  ガソリンカードの適正管理  エコドライブの推進	目的地が同じ場合は乗り合わせで行く等、効率的な車の使用を促進しました。タイヤの空気圧をこまめに確認し適正値を保つ様に努め、エコドライブを推進しました。	取り組みの結果 $\Delta$ 3.2%と達成する事ができました。販売台数・サービス入庫台数の増加による使用量の増加はありましたが達成することが出来ました。引き続きガソリンの適正管理を徹底していきます。
	灯油使用量削減	工場残業管理及び温度管理	温度設定の管理と電源のON・OFFを小まめに実施する様に継続して取り組みを進めます。	昨年在 $\Delta$ 16.3%達成。今年も $\Delta$ 16.2%と達成する事ができました。順調に使用料を管理できていると思います。今後も温度管理と無駄のない使用を心がけ削減に取り組みたいと思います。
(2)	紙（コピー用紙）の使用削減	会議等の資料枚数の削減  裏紙使用、両面印刷の推進  電子媒体による資料の推進	メール・スマホ・スキャナー等の利用、ネットワーク上の共有ファイルを多用し印刷を減らす等、電子化を推進しています。またミスプリント削減の為に印刷前確認の徹底をする事。使用済み用紙の裏面を利用を推進し、基本的な取り組みを徹底して行っています。	取り組みの結果 $\Delta$ 2.6%達成しました。社外の電子申請、又社内の報告・連絡・お知らせ等も電子媒体を積極的に利用することができました。今後も基本的な取り組みを継続していきます。
	産業廃棄物の削減	マニフェストの完全運用  持ち込まない運動の推進  分別再資源化の推進	廃棄物の分別を継続して徹底し再資源化の推進を実施しました。	取り組みの結果 $\Delta$ 0.2%達成となりました。改めて分別の徹底を確認し、廃オイル・鉄くず等の再資源ができる項目についても意識して削減を図って参ります。
(3)	上水道の使用量削減	トイレ及び整備工場の節水活動推進	無駄な垂れ流しの無いよう徹底する事、散水弁・洗車機・休憩室等、屋内外の水道設備から漏水していないか常に注意し、料金の推移にも注視しながら取り組みを進めています。	+6.6%と未達成となりました。下期漏水により大幅増となってしまう拠点があり、これからはさらに水漏・蛇口の閉め忘れ等の確認を小まめに実施をして取り組みを継続していきます。
(4)	管理台帳の作成			追加や削除される項目に対応し、速やかに拠点展開を行っていきます。
(5)	新車販売目標達成率100%	販売対策の実行	全社員が期末最後まで拡販に取り組み、売り上げ台数に結び付ける為、車両登録と整備の促進も連携を図りながら進めました。又、労働組合も社内紹介販売や組合員の代替促進を行いました。	取り組みの結果、達成しました。現在も自動車業界を取り巻く環境は厳しい状況が続いています。今期は最終型のハイブリッドバックとフルモデルチェンジ前のフォルクスワーゲンが好調だった事と昨年メーカーから一部供給停止があった軽自動車万台の底支えをし、労働組合の後押しがあった結果、達成となりました。引き続き全社員一丸となって頑張っていきます。
(6)	社会貢献環境保全活動	地域社会への環境活動推進  事業所周辺の清掃活動	月1回の清掃活動、赤十字社からの献血要請にも対応し、積極的に取り組みを進めました。今後も拠点単位で継続して実施をしています。	会社周辺の道路清掃は定期的に行う事ができています。又、献血も継続して実施ができています。引き続き地域に貢献する活動を続けていきます。

## 今年度の取り組み



### 一つのいのちプロジェクト

5月25日 日光国立公園 那須平成の森にて

「人と自然をつなぎ豊かな森を後世に伝える活動」をされているインタープリターと共に学び、作り、考える「那須平成の森×SUBARU 国立公園の自然を愉しもう！」が開催しました。



献血活動への取り組み  
複数店舗での活動を毎年実

## 【次年度の取り組み内容】

次年度、本社屋外照明をLED照明器具に交換予定です。それ以外の機器においても省エネタイプの商品を導入する事を引き続き促進してまいります。冷暖房設備の交換の場合も省エネタイプの製品を導入すると共に、今まで以上に適正な運用を心掛けます。整備作業効率化によって省電力化に貢献できるようにさらなる努力をいたします。紙の使用量については、社外への電子申請・申告やメール、スマホ、スキャナー等を積極的に推進してまいります。廃棄物の分別を再度徹底しリサイクルの推進・適正分別による廃棄量削減を図ってまいります。今期、上水道が漏水により未達となってしまった為、次年度は注意深く確認を取ってまいります。今年度の取り組み結果・評価を振り返り、全社員一丸となって取り組みを引き続き実施いたします。

## 【8】環境関連法規等の遵守状況の確認 及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

### (1) 適用となる環境関連法規

適用法規	要 求 事 項 (概 要)	評価結果
水質汚濁防止法	* 特定施設の届出	適合
浄化槽法	* 設置届出、法定検査、保守点検	適合
下水道法	* 使用、設置の届出	適合
労働安全衛生法	* SDSの周知 * 有機溶剤作業主任者等の選任 * 有機溶剤設備等設置届	適合
廃棄物処理法	* 廃棄物処理業者との委託契約 * 廃棄物の表示・保管管理 * マニフェストの交付・管理・報告	適合
消防法	* 少量危険物取扱いの届出・表示 * 乾燥設備設置届	適合
フロン排出抑制法	* 特定製品が廃棄される際のフロン類の適正な措置 * 簡易点検の実施	適合
騒音規制法	* 特定施設の届出	適合
振動規制法	* 特定施設の届出	適合
化管法 (PRTR法)	* 特定化学物質の排出量・移動量の把握と記録、 基準値以上の取扱量の場合は行政に報告	適合
自動車リサイクル法	* 使用済自動車の適正処置	適合
栃木県生活環境の保全等に関する条例	* 各適用法規に準ずる	適合

### (2) 違反、訴訟等

2025年5月31日に環境関連法規の遵守状況をチェックした結果、当社における環境関連法規への違反はありません。また、関係機関からの指摘も過去3年間ありません。同様に、訴訟について1件もありません。

## 【9】代表者による全体評価と見直しの結果

今期は自動車販売会社として環境に優しい自動車の販売目標を達成することができ大変喜ばしい事だと思います。電気使用量の削減と環境対応として今期本社事務棟のLEDの入替が完了しましたが、来年上期で本社外灯のLED入替を追加で予定しています。設備に関してはこれからも省エネタイプの商品に配慮し導入を進めていきますが、社員ひとり一人の環境への意識を強めていく必要があります。今後も気を緩めることなく業務の効率化とそれぞれの使用量を最小限に抑えながら環境への配慮を進めて下さい。自動車販売会社の責任として今年発売した新型クロストレック ストロングハイブリッドを中心とした環境に良い商品を勧めていく事と地域社会への貢献をこれからも引き続き継続していきます。